令和２年度 小池中学校

糸半（いとはん）プロジェクト新聞

※糸半プロジェクトの名前には、小池中生が縦糸、地域の方々が横糸となって、お互いの力を出し合って、絆を深めたいという願いが込められています。

平成27年、燕市の「羽ばたけつばくろ応援事業」の採択を受け、生徒会本部が中心となり、「糸半プロジェクト」を立ち上げました。
「糸半プロジェクト」は、お世話になっている地域の方々への恩返しと、中学生にできることを考え行動し、小池中の良さを自分たちの姿で表現するという地域への発信とボランティア精神の向上を目的としたものです。
感染禍にある今年度は、「いざというときに命を守ることができるために　今、私たちができること」を活動テーマとして、三つの視点で取り組みました。私たちの取組を糸半新聞にまとめ、地域に発信し、連携を一層進めていきます。

令和２年度 企画活動テーマ

～いざというときに命を守ることができるために　今、私たちができること～

新型コロナウイルス感染症の影響で
自分自身や学校の仲間、家族や地域の方々、自分の周りの人の命をしっかりと守ることができるように行動することが、私たち一人一人に求められています。
そこで、今年度はこれまでの地域貢献活動に加えて、次の３つの視点で活動しました。

❶災害から身を守る

地域の取組や思いを共有

地域との懇談会
五月二十八日（木）

燕第一地区まちづくり協議会の役員の皆さんに、これまでの地域防災訓練での取組や中学生に期待することなどについて伺いました。燕の災害に関する歴史をもとに、避難訓練の必要性、避難カードによる人数の把握の大切さなどについて詳しく知ることができました。

災害場面を想定した道徳　３年生

防災クロスロード

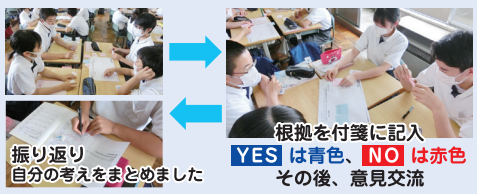
災害時の様々な場面を想定して二者択一の選択から、自分はどう行動するかを考え、みんなで話し合って納得解を導き出しました。

こんな場面を考えました。
その時の立場【あなたは市の職員】

大地震から数時間。避難所には 500 人が避難している。コンビニのおにぎりが 100 個と菓子パンが 100 個、２ℓのペットボトルの水が50本届いた。次はいつ届くか分からない。届いたおにぎりとパン、水を配る？

YES ・ NO

YES or NO カードで意思表示



10/3（土） 地域防災訓練・防災学習

防災訓練

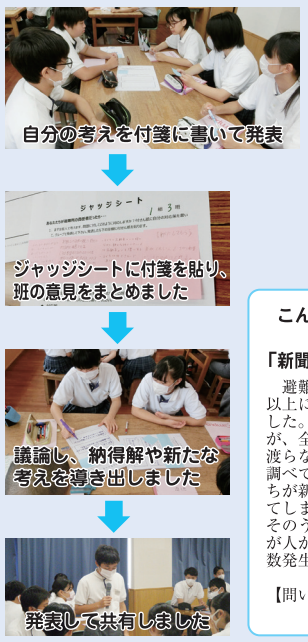
感染禍のために例年とは違い密を避けて一時避難所までの避難訓練となりました。今年から新たな試みとして、安否確認を役員の方と一緒に中学生が行いました。

防災講話

燕市役所防災主幹の十河浩様より小池地区で想定される災害について丁寧に説明していただきました。ハザードマップから河川の氾濫による水害の危険性は低いことが分かりました。今年は原子力災害についても新たに知ることができました。

さすけなぶる

東日本大震災による避難所（ビッグパレットふくしま）で実際に起きた事例にどう対処するか。正解のない問題に、個の命と人権を守ることをルールとして考えました。



こんな事例への対処を考えました。
「新聞屋と呼ばれた人たち」

避難所には、被災者の人数以上に新聞が届けられていました。しかし、毎日その新聞が、全ての希望する人に行き渡らなくて困っていました。調べてみると、何人かの人たちが新聞を数十部持っていってしまうことがわかりました。そのうちに新聞を巡って、けが人が出るなどトラブルが多数発生しました。

【問い】あなたが避難所の責任者だったら

防災マップ作成に向けて

自分たちのまちの災害危険性を知るために防災マップを作成しています。作成に当たって、燕市役所防災主幹の十河浩様と地域コーディネーターの清水芳秀様にアドバイスをもらいました。その後、町内ごとに地震発生時に危険と考えられる所について情報交換しました。防災マップは、小池中学校のＨＰで地域に情報発信し、定期的に更新していきます。

ＨＰで情報発信中

今年度、ホームページをリニューアルしました。糸半プロジェクトの活動も紹介しています。是非、御覧ください。

小池中ＨＰ用

小池中学校では３年間を通して、災害時に必要とされる様々な資質や能力を身に付けるために防災学習に取り組んでいます。

学年ごとの活動

一年生《災害弱者の避難支援》
車いすを利用している方を支援できるように車いすを体験しました。

二年生《救急法講習》
燕消防署の署員の方から心肺蘇生やＡＥＤの使い方について講習していただきました。

三年生《避難所運営ゲームＨＵＧ》
災害発生時の避難所運営について実践的に考え、話し合いました。

❷新型コロナウイルス感染症から身を守る

糸半朝会

感染禍のため、私たちは外出自粛や学校休業など、いろいろな制約の中で生活してきました。そんな中で知らないうちにストレスを感じていたかもしれません。そこで、その解消法や心と体の健康法などを身に付けるため、私たちの先輩に講師をお願いしました。

◆七月二十一日（火）
講師…やしま接骨院 院長
八島　拓也 様
（小池中平成十八年度卒）
演題…「カラダをほぐして免疫力ＵＰ
～新型コロナウイルスに
負けないカラダ作りを～」

❸犯罪から身を守る

いじめ根絶

◆六月十日（水）
講師…スクールロイヤー
中澤　泰二郎 様
演題…「弁護士によるいじめ予防授業」
具体的ないじめ場面の劇を交え、生徒の意見も聞きながら分かりやすく説明していただきました。

糸半朝会

◆十月二十日（火）
講師…新潟県燕警察署小池駐在所
新潟県巡査　田口　康浩 様
演題…「本当の『護身』とは」
被害から身を守るための防犯対策と逃げるための護身術について説明していただきました。本当の護身とは、自ら危険を察知し、そのような場所に近づかないこと。また、戦うためではなく逃げるための護身術を丁寧に実技も交えて教えていただきました。

地域貢献活動紹介

クリスマスリースプレゼント
総合文化部で毎年制作しているクリスマスリースは12月の風物詩となりました。今年はお世話になっている自治会長の皆さんにプレゼントさせていただきました。

藤の実もぎ作業
県指定天然記念物の八王寺の白藤の保全活動を手伝いました。

鉢植えプレゼント
ボランティアで植栽し、整美委員会と総合文化部で育てた鉢植えをお世話になった施設にプレゼントさせていただきました。

地域クリーン作戦
今年は整美委員長が呼びかけて多くの生徒が自主的に参加しました。

燕市立小池中学校
〒959-1265
新潟県燕市道金1095-1
ご意見、ご感想等は
koike-j@tsubame-city.ed.jp